

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 姫路社会福祉事業協会	代表者	理事長 小林 茂	法人・ 事業所 の特徴	『利用者と共に』を第一に、介護する側、される側といった一方的な関係ではなく、出来ることを一緒に行い、共に支えあう関係を築いて行きたいと考えております。買い物や散歩、ドライブなど施設外の活動も多く、また、地域の方々に参加いただく体操や行事の企画や地域の催し物への出店や参加など地域交流を図りながら、地域中の小規模多機能を目指しています。
事業所名	小規模多機能ホーム 燦 燦	管理者	管理者 末道 里美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	5人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価シートに常勤職員、非常勤職員の枠を作成しより分かりやすくする。また次年度の改善計画を徹底して行っていく。	常勤と非常勤職員の枠を分けたことでわかりやすかったとの話あり。	特になし。	事業所の自己評価をもとに挙げた次年度計画を職員全体で周知し行っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続きコロナウイルス感染症予防のため、消毒及び換気を行うと共に掃除も徹底して行っていく。	毎食後とおやつ後に換気を行い、使用したテーブルやパーテーションも細目に消毒を行った。	設問4のカギの話について受け取り方で解釈が違うので迷ったとの話あり。	地域の方が入りやすいように清潔に努め、引き続き感染症対策も徹底して行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	定期的にリーフレットのポスティングを行い、困りごとや相談が出来る施設という事をアピールしていく。	リーフレットだけでなく施設の概要がよく分かるように紙芝居も作成した。	紙芝居がどんなものか？との話あり、実際に見てもらい説明を行った。	施設の事を知ってもらうように紙芝居を活用し近隣の生き生き百歳体操にも参加しアピールを行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナウイルス感染症が落ち着いた時に地域の行事に参加し交流が出来るように努める。	コロナウイルス感染症も落ち着きだし、地域のふれあい喫茶や祭りにも顔を出さしていただいた。	特になし。	地域との交流を増やす為、地域の行事にも少しでも多く参加を行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の心配な方など、運営推進委員や地域の方からの相談に対して、運営推進会議の場を活用しいろいろな提案を行っていくように努める。	コロナウイルス感染症の為、運営推進会議が出来ない時もあり	特になし。	地域の心配な方など、運営推進委員や地域の方からの相談に対して、運営推進会議の場を活用しいろいろな提案を行っていくように努める。
F. 事業所の防災・災害対策	地域での防災訓練に参加できる機会があれば参加に努める。	地域での防災訓練が各村での持ち回りで担当地域での防災訓練がなかった。	自治会に問い合わせ次回防災訓練がある時には連絡をいただく。	地域での防災訓練に参加し地域との交流を図る。